

広島市植物公園 見どころ案内

スカーレットオーク
(ブナ科)

2020年11月14日
通巻第485号

北米東部原産の落葉高木。深裂した葉が特徴的で、紅葉もきれいです。近くではドウダンツツジも赤く色付いています。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (10/31~12/24)
被爆樹木展 75年目の記録
- ◇展示温室 (11/11~11/16)
寒蘭展

イソギク (キク科)

野生菊のなかまが見ごろを迎えています。イソギクは南関東から東海地方の海岸の岩場に自生する多年草です。

バラ (バラ科)

秋バラが次々と開花してきています。気温が低下してきて形が整った良花が増えてきました。まだつぼみも多く、11月中旬以降も見頃が続きそうです。

寒蘭展

東洋蘭の中でも特に清楚で人気のある寒蘭を展示します。(16日まで)

ハイビスカス
アーノツティアヌス

カトレヤ (ラン科)

「洋ランの女王」とも呼ばれる、中南米の熱帯・亜熱帯原産のラン。現地では木の幹などに着生して生活しています。秋咲きのものが見頃となっています。

カカオ

アリストロキア ギガンテア

スズランノキ (ツツジ科)

ニシキギ、ニッサとともに世界三大紅葉樹と呼ばれ、木全体が真っ赤に染まるほど見事に紅葉しています。

カエデのなかま (ムクロジ科)

カエデ園では、日当たりの良い所から紅葉が始まっています。日本庭園の茶室横のカエデは紅葉の最盛期を迎えています。

トウカエデ (ムクロジ科)

葉が浅く3裂するカエデ属の一種。休憩展望塔付近に列植されており、夕方には見頃を迎えつつある紅葉が夕日に染まり非常に美しいです。

コダチダリア (キク科)

高さ数メートルにもなるダリアの一種で、「皇帝ダリア」の名でも流通しています。頭上を見上げると薄紫色の花が多数うつむき気味に咲いています。

モミジバフウ (フウ科)

紅葉が見頃です。休憩展望塔や芝生広場から眺めると、紅葉の様子が一望できます。

イチヨウ (イチヨウ科)

前号に引き続き黄葉が見頃となりそうです。イチヨウは木に性別があり、芝生広場のイチヨウは東側が雄木、西側が雌木です。

三波川冬桜 (バラ科)

10~12月に白色~淡紅の花を咲かせます。一度に多くの花をつけるわけではありませんが、長い期間咲いています。子福桜も花をつけています。

